

世界文化遺産

韮山反射炉

反射炉とは、銑鉄を溶かして優良な鉄を生産するための炉です。銑鉄を溶かすためには千数百度の高温が必要ですが、反射炉の場合、溶解室の天井部分が浅いドーム形となっており、そこに炎や熱を反射させ、銑鉄に集中させることでその高温を実現する構造となっています。

そこから、反射炉という名称が与えられたのです。溶かした鉄は、鑄型に流し込んで大砲などに加工されました。炉体と煙突の部分を含めた高さは約15・7m、実際に稼働した反射炉が残っているのは日本でここだけです。稼働当時、反射炉の周囲には各種の作業小屋や倉庫などが建ちならび、多くの職人が働いていました。



アクセス

■電車・バスをご利用の場合

- JR東海道新幹線
東京から三島駅(60分)
名古屋から三島駅(1時間20分)
新大阪から三島駅(2時間15分)
- JR東海道本線
三島駅下車、伊豆箱根鉄道乗り換え。
沼津駅下車、伊豆箱根バス乗り換え。
- 伊豆箱根鉄道
JR三島駅から原木駅・韮山駅・伊豆長岡駅・
田京駅・大仁駅下車。
沼津駅下車、伊豆箱根バス乗り換え。
- 伊豆箱根バス
JR沼津駅から長岡温泉駅経由・伊豆長岡駅
JR三島駅から市役所経由・長岡温泉駅

■お車をご利用の場合

- 東名高速道路
東京から沼津I.Cまたは長泉沼津I.C(1時間20分)
名古屋から沼津I.Cまたは長泉沼津I.C(2時間30分)
大阪から沼津I.Cまたは長泉沼津I.C(5時間)
沼津I.Cまたは長泉沼津I.Cから伊豆縦貫道・
伊豆中央道経由、伊豆の国市まで約20分。
沼津I.Cから国道414号線、伊豆の国市まで約25分。

【所在地】〒410-2113 静岡県伊豆の国市中字鳴滝入268
 【拝観料】一般…100円 小中学生…50円
 ※伊豆の国市民は無料
 【開館時間】9:00~16:30
 【駐車場】有
 【電話】055-949-3450



明治日本の産業遺革命産 葦山反射炉



■反射炉築造の歴史的背景

天保11年(1840)のアヘン戦争を契機に、日本では列強諸国に対抗するための軍事力の強化が大きな課題となった。それを受けて、薩摩や佐賀など開明的な藩主のいた藩では、西洋の先進的な技術の導入が積極的に行われるようになる。幕府においても、江川英龍をはじめとする蘭学に通じた官僚たちによって近代的な軍事技術や制度の導入が図られ始めた。

江川英龍は、西洋砲術の導入、鉄製大砲の生産、西洋式築城術を用いた台場の設置、海軍の創設、西洋式の訓練を施した農兵制度の導入など、一連の海防政策を幕府に進言している。このうち、鉄製砲を製造するために必要とされたのが反射炉であった。

嘉永6年(1853)、ペリー艦隊の来航を受けて幕府もついに海防体制の抜本的な強化に乗り出さざるを得なくなった。そこで、以前から様々な進言をしてきた江川英龍を責任者として、反射炉と品川台場の築造が決定されたのである。

■江川英龍とは

葦山反射炉の生みの親、江川太郎左衛門英龍(坦庵)。地元では今も親しみを込めて「たんなんさん」と呼ばれている彼は一体、どのような人物なのか。



英龍は、享和元年(1801)、幕府の葦山代官を世襲する江川家に生を受けた。文政7年(1824)から、父英毅の下で代官見習いを務めて経験を積み、天保6年(1835)に江川家第36代当主となるとともに、葦山代官に就任した。葦山代官は、伊豆・駿河・相模・甲斐・武蔵にある幕府直轄地の支配を担当する行政官である。

当時の日本は、全国的な飢饉(天保の飢饉)に見舞われていて、各地で一揆や打ち壊しが頻発していた。また、異国船が相次いで来航し、補給や通商を求めてくるなど、まさに「内憂外患」と言ってもいい状態であった。そんな中で代官となった英龍は、そうした緊急の課題にただちに対処しなければならなかったのである。

葦山反射炉 周辺観光

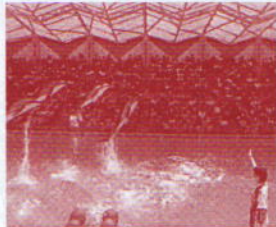
江川邸



蔵屋鳴沢



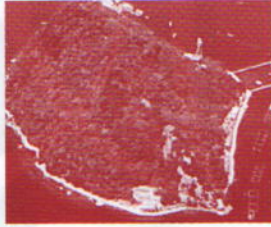
伊豆三津シーパラダイス



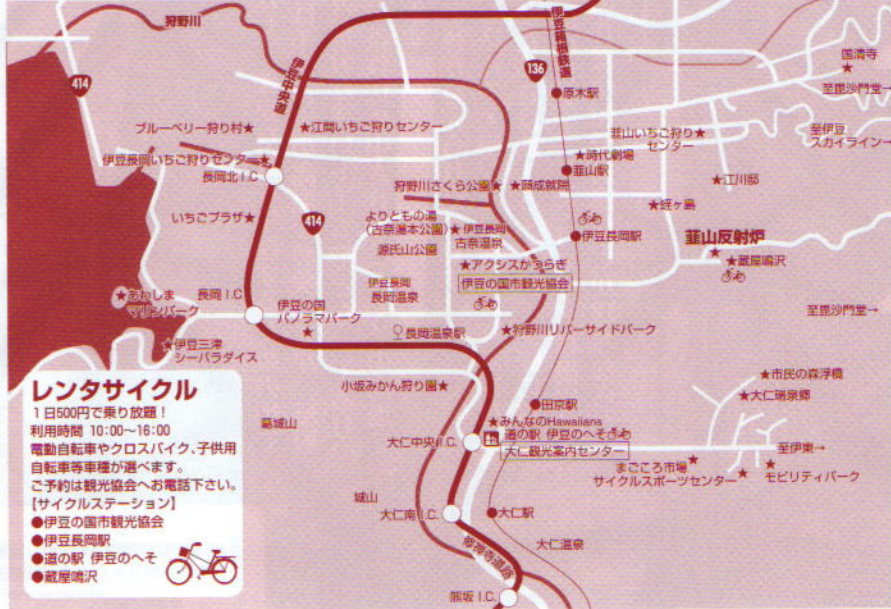
モビリティパーク



あわしまマリンパーク



伊豆の国パノラマパーク



レンタサイクル
1日500円で乗り放題!
利用時間 10:00~16:00
電動自転車やクロスバイク、子供用自転車等車種が選べます。
ご予約は観光協会へお電話下さい。
【サイクルステーション】
●伊豆の国市観光協会
●伊豆長岡駅
●道の駅 伊豆のへそ
●蔵屋鳴沢

IZU・WORLD みんなのHawaiians



自転車の国 サイクルスポーツセンター



蛭ヶ島



小坂みかん狩り園



ブルーベリー狩り村



江間・伊豆長岡・葦山いちご狩りセンター



いちごプラザ



願成就院



お問い合わせ

055-948-0304

一般社団法人

伊豆の国市観光協会

〒410-2201 静岡県伊豆の国市古奈255